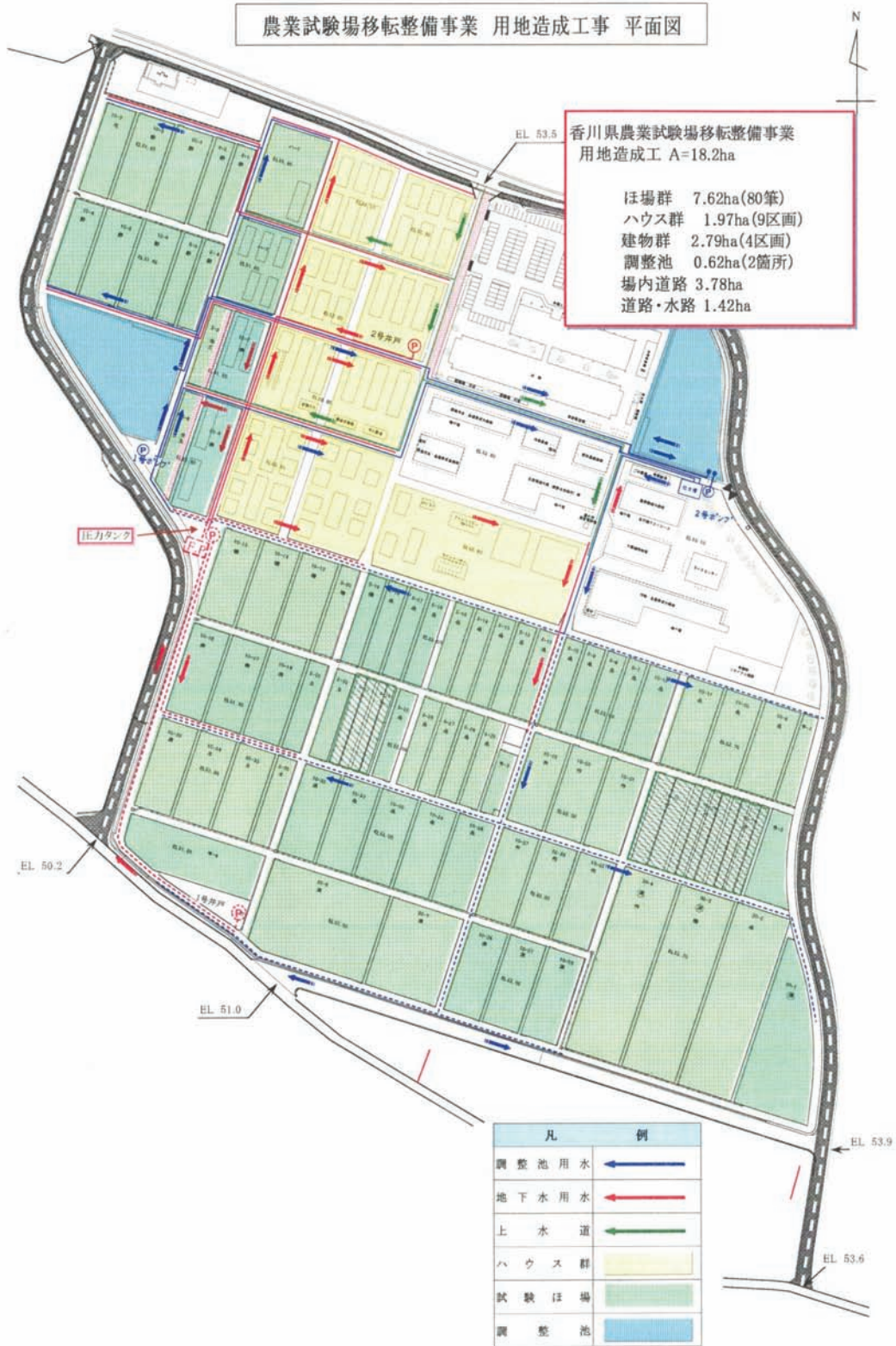


21世紀における高度な試験研究施設 新香川県農業試験場が10月開場

農業試験場移転整備事業 用地造成工事 平面図



旧農業試験場本場（高松市仏生山町）は、周辺の都市化に伴う農業用水の水質悪化を始め、施設の充実強化を図るための研究施設や研究ほ場の拡張用地の確保が不可能な状況にあり、施設も老朽化が進んでいた。

また、試験場本場と分場に分散して試験研究が行われているなど、二十一世紀における高度な研究課題に対して、迅速かつ効果的に対応するための試験研究環境としては十分機能が発揮し難くなってきていた。

このため、一部分場の統合を含め、本場を移転整備し、時代の要請に応じ得る試験研究施設を綾歌郡綾川町北に建設した。

○【施設配置】造成面積は、東西約四〇〇m、南北約四五〇mで、総面積は18.2ha、県道綾歌綾川線から南に入った位置に建物群（研究管理棟（本館・駐車場等）、現場実験施設（作業棟等）を配置し、その西と南にハウス群（温室施設）、*やうじょう*に西と南に、ほ場群を整備した。

○【事業経過】本事業は平成六年度に「農業試験場ビジョン二十一」で試験研究の基本推進方向、研究体制、施設等の整備方針を策定し、幾つかの移転候補地の中から平成十一年度に綾川町と用地取得推進体制の整備を行い、工事は、十五年から二十三年度に用地造成工事の中讃土地改良事務所が施工し、十月一日に開場した。

ハウス群



本館（事務棟）



ほ場群



調整池・駐車場

